

指導案

パラリンピアンが学校に来るとしたら



授業の目標

- ・車いすを使う選手を学校に招くとしたら、どのような対応が必要か考える。
- ・障害は多様であり個々のニーズを聞かなければわからないことが多いため、「障害者」と一括りにして決めつけるのではなく、相手の状況や立場に立って考えたり、直接尋ねたりするなどしながら、「困り事」を解決するにはどうすればよいかを考える必要があることを理解する。

【授業後にめざす姿】

- ・身の回りの環境を、バリアフリーの視点で考えることができる。
- ・障害の有無に関わらず、相手の状況や立場に立って考えることができる。
- ・「困り事」を解決するためにどうすればいいか、自分なりのアイデアを出すことができる。

授業展開 (45分)

時間	学習活動と内容	指導上の留意点
2分	1 パラリンピアンについてどんなことを知っているか投げかける。	・児童がイメージするパラリンピアンの特長を確認し、その人たちが、学校に来るとしたら、と考える必要性を喚起する。
13分  約10分	2 もし、学校にパラリンピアンが来るとしたら、ということを考えることを伝え、映像を再生する。	<ul style="list-style-type: none"> ・4分24秒（バリアフリーの説明まで）で一時停止し、ポイントをふりかえるとよい。 ※映像はこの後、問いの状況説明になるため。 ー香西選手にとって日常生活の中でバリアになっていることは？ →バリアフリーになっていない場所では補助が必要となる場合もある。 ーバリアフリーとは？ →階段や段差という困り事をスロープで解決した例のように、「困り事を取り除くための工夫」がバリアフリーである。
問い みんなの学校にパラリンピアンが来るとしたら、選手が困らないようにするためにはどうすればよいだろう？		
15分	3 考えよう 車いすを使う選手が来るとして、①～④の場面について考えよう。 ○どんなものがバリアになるか、またヒントを参考に、どんな工夫が考えられるか、グループで話し合わせるなどして考えさせる。 ○発表させ、考えを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校で、4つの場面について考えさせる。 ①正門から入ってくる時 ②玄関から校舎の中に入るとき ③体育館に入るとき ④教室の中に入って給食を食べるとき ・それぞれについてヒントを準備。 ・車いすについては、使う人によってさまざまな違いがあるため、参考資料として「参考：香西選手の車いすについて」を準備している。
10分  約7分	4 「映像の学校では、どんな工夫を考えたのだろうか？」と投げかけ、映像を再生する。 ○①～④の場面について自分たちが考えた工夫との共通点や相違点を確認させる。	・映像で提示する解決方法はあくまで例であり、児童の考えが 車いすを使う選手が、不安を感じることが無いように解決しようと考えている ものであれば、認めるようにする。
5分	5 本時で、気づいたこと、考えたことをふりかえる。 ○4の映像「学校をバリアフリーにするには」で伝える大切なことを改めておさえる。 ○本時の学習を通して、気づいたこと、考えたことを発表させ、共有する。 ○本時のふりかえりを記入させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・映像では、以下3点を大切なこととして伝えている。 ○かわいそうと決めつけるのは間違い。 ○同じ障害でも人それぞれ困り事は違う。 ○その人の立場になって考えたり、わからないことは直接聞いてみたりすることが大切。 ・タマちゃんのつぶやきを提示し、その後の学習や生活につなげるよう伝えとよい。

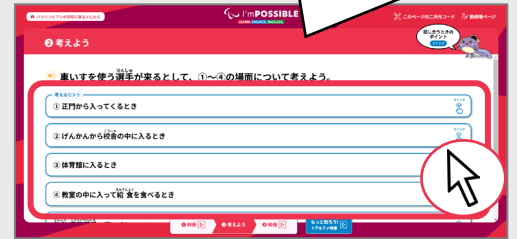
ワークのポイント

考えよう

車いすを使う選手が来るとして、①～④の場面について考えよう。

- 自分の学校に車いすを使う選手が来ると仮定して、4つの場面に応じたような問題があり、どのような工夫で解決できるか、考えさせます。

考えよう画面では、自分の端末からヒントをクリック！



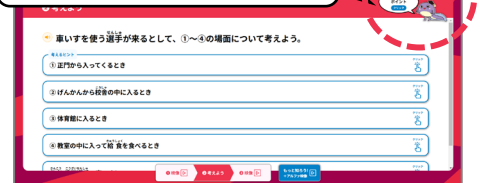
場面のイメージを膨らませるヒントを準備。

【話し合うときのポイント】

話し合いの際、児童にお伝えください。

- ① 他人の意見をしっかり聞こう。
- ② 意見を伝えた人には、拍手をしよう。
- ③ 「いいね」「なるほど」など相手を認めながら、意見をつなげよう。
- ④ 全員が発言できるようにしよう。

ここをクリックすると表示されます！



パラリンピアンインタビューを通して、さらに理解を深める

まとめの映像には、パラリンピアン香西選手のインタビューが収録されています。アメリカの制度や環境など香西選手の体験を通して、障害のある・なしに左右されず、さまざまな人が自分のやりたいことができる社会の在り方について、解説します。身の回りの環境を見る際の視点を提供し、さらに理解を深めることにつながります。

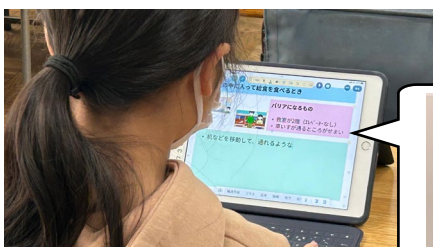


車いすバスケットボール 香西選手

◆ ICTの活用アイデア

グループで考える・クラスの考えを知る（協働的な学び）

グループでの話し合いなどでは、ICTを活用することで、考えを可視化し、効果的に深めることができます。



← 個人の考えを書き込んでいる様子。
(ロイロノートの例)



← 個人の考えをクラスで共有。

自分のペースで考える

(個別最適な学び)

考えようのページには、ヒントを準備しています。ぜひ、各自の端末から開かせ、自分で考える参考にさせてください。

その問いを考えたときに、URLを送付したり、開かせたりすると、活動に集中させることができます。



また、イヤホン準備すると、映像視聴も含め、自分のペースで、自立的に学習を進めることができます。

ワークシート回答例

I'mPOSSIBLE

年 組 番 名前

1 映像 ▶ 最初の映像を見よう

バリアフリー……こま困り事を生み出しているものを、取り除く

自分で学習する
サイトはこちら

問い

みんなの学校にパラリンピアンが来るとしたら、選手が困らないようにするためにはどうすればよいだろう？

2 考えよう

車いすを使う選手が来るとして、①～④の場面について考えよう。

考える
ヒント

① 正門から入ってくる時

バリアになるもの 例：インターフォンに手が届かない	バリアフリーにする方法 例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間になったらむかえに行く。 ・ 正門いがいの場所に あんないする。 など
例 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターフォンがない。 ・ だんさがある。 など 	例 <ul style="list-style-type: none"> ・ カーペットがあって、 車いすが動かしにくい。 ・ だんさがある。 など

② げんかんから校舎の中に入るとき

バリアになるもの 例：げんかんに置いてあるスリッパ	バリアフリーにする方法 例 <ul style="list-style-type: none"> ・ スロープになる板をおく。
例 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターフォンがない。 ・ だんさがある。 など 	例 <ul style="list-style-type: none"> ・ カーペットがあって、 車いすが動かしにくい。 ・ だんさがある。 など

③ 体育館に入るとき

バリアになるもの 例：体育館の段差	バリアフリーにする方法 例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所を変える。 ・ ドアをあけておく。 など
例 <ul style="list-style-type: none"> ・ かいだんがある。 ・ ドアが重い。 など 	例 <ul style="list-style-type: none"> ・ つくえがひくい。 など

④ 教室の中に入って給食を食べるとき

バリアになるもの 例：車いすが通るところがせまい	バリアフリーにする方法 例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生につくえを使う。 など
例 <ul style="list-style-type: none"> ・ つくえがひくい。 など 	例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生につくえを使う。 など

▶ 3 映像 ▶ まとめの映像を見よう

ふりかえり

授業をふりかえって、気づいたこと、考えたことを書こう。

タマちゃんの
つぶやきも
見てね！

- ・ 身の回りにバリアになるものがたくさんあると気づいた。
- ・ バリアフリーにするためにはいろいろなくふうができることがわかった。
- ・ しょうがいがある人がいつもこまっているわけではないから、本人に聞くことが大切だと思った。
- ・ しょうがいがある人もいろいろなことができるようにくふうすることが大切だと思った。